

西小倉めぐみ教会通信

発行者 日本キリスト教団 西小倉めぐみ教会

〒 611-0042 京都府宇治市小倉町西浦 33-36

TEL&FAX 0774-20-3071 <http://www.n-megumi.com/>

倉橋 剛

聖名を崇めます。多くの教会や信徒の方々のお祈り、そして尊いご献金をいただき私たちの小さな教会が神さまのご用のために働かせていただだけ、本当に感謝しております。

私はよく、宣教の中で「自己肯定」という言葉を使います。特に2005年より西小倉めぐみ教会に遣わされ、本当に精神的に苦しい日々を送っておられる何人もの教会員と出会い、また私自身も心身ともに弱さを覚える中で与えられた大切な言葉だからです。鬱状態を経験された方は、精神的に辛い、という状態を他の人には伝えにくい事とよく言われます。とにかく朝起きると、何ともいえない頭の中の不快感、重い、考えられない、頭の中で吐き気がする、という表現をされる方もあります。何もかもする気力がわかず、手につかない。生きる気力がわかない。うつ的傾向が強い場合、特に「自己肯定」の逆で強い「自己否定」が起こってしまうことがしばしばです。また、病気によって幻聴や幻覚に悩まされ、そのために急に不安感が高まりSOSの電話をしてこられる方も少なくありません。電話口で一緒にお祈りすることもよくあります。こういう、しんどさの中で「今日は礼拝に来れた！みんなに会えた！」と言われる、その言葉の重さに逆に教会の存在意義を、礼拝の重要性を改めて知らされるのです。

こういう苦しさを担っている方々にとって「自己肯定」できると言うことがいかに難しい

か想像していただけたらと思います。そういう自分自身を受け入れることは、とても簡単にできることでは

ありません。この与えられた「自己肯定」は自分が自分に対して、私はこれでいいのだ、ありのままの自分でいいのだ、と言っているのではありません。福音信仰から与えられる「自己肯定」は神さまの側から「そんな弱さを持った、欠けの多い、ありのままのお前でも良いんだよ。」と自己肯定する大切さを示していただくのです。私たちは皆、誰であっても罪を負う存在であり、弱い弱い存在です。けれどイエス・キリストの示す福音の本質は「神の恵みと赦しによって今日在る自分を見出す」ことなのではないでしょうか。こうして見出された自分の存在を肯定すること、良しとすること、それは福音からはずれたものではないでしょう。

この「自己肯定」を多くの弱い立場におかれている方々に伝えていく大切さを日々感じさせられています。そして、神さまから愛され豊かなお恵みの中で生かされている私を、これでいいのだと「自己肯定」出来る時、私たちは自然に、あなたの存在をも肯定していける、ということを知られます。この自己肯定の中に隠されている神さまの恵みと赦しを大切にしたいと思います。

このようなメッセージを伝えたいという思いからも、しんどさゆえに礼拝に出席したくても来られない方々のところへ行き家庭集会を始めました。小さい集いでもこちらから出向いていって、その場で礼拝を守ることが出来るからです。しんどい中から出席してくださり一緒に守れる教会での礼拝(人数は本当に少ないのですが…)。たとえ来られなくても、家庭で守れる小さな礼拝。どちらも同じように神さまは祝福してくださいます。

このような私たちの歩みを覚え、どうぞ続いてお祈りに加えていただき、またお支えくださいますよう心よりお願いいたします。

在 主



2007年後半・教会のあゆみ

＜夏のデイ・キャンプ＞ 8月14日(火)

YMCA宇治リトリートセンター

教会のファミリーキャンプとしてしょうがいのある仲間達も共に、自然いっぱいの中で楽しいデイ・キャンプをしました。日頃のせわしい生活から解き放たれ、素足で小川に足を入れたり、お昼はみんなでバーベキューをお腹いっぱい食べました。

本当に、心暖かい楽しいキャンプでした。



＜家庭集会＞ 10月9日(火)

私たちの教会は、しょうがいのある方々が多く、体調も一定でないため中々一緒に礼拝を守ることができません。それでこちらから出かけ、ご家庭でミニ礼拝をしようと家庭集会(1面写真)をはじめました。この場にも、主の祝福がありますように!

＜永眠者記念礼拝・墓前礼拝＞ 11月4日(日)

先に天に召された方々を覚えて、永眠者記念礼拝を守りました。教会の墓地に眠っておられる方も、またそれぞれの心に覚えている愛する方々を覚え礼拝を守りました。

また、午後教会の墓地がある城陽霊園には、多くのご遺族、また友人、知人が集まってくださり40名の方とご一緒出来たことは、主の豊かなお恵みでした。



＜しょうがい者週間を覚えての礼拝・学習会＞ 11月11日(日)

礼拝では、私たちの教会の大きな使命である「弱い立場の方々と共に歩む教会」を心に刻みながら、もう一度「共に歩む」ことを聖書から学びました。

午後は、南山城地域でPSW(精神保健福祉相談員)として保健所で活躍されている大崎卓也さんを講師にお招きし、「山城北地域精神保健福祉ネットワーク」作りについてこれから進めようとしておられることを聞きました。私たちからも精神しょうがい者の立場から



の声も出したりと、お互い情報の交換や、これからの精神しょうがい者支援について考える有意義な時となりました。課題は山積みですが、とても私たちの小さい教会だけでは力がありません。時には、地域の社会資源も利用しつつ歩んでいきたいと思います。

<クリスマス礼拝・クリスマスイヴ礼拝> 12月23日(日)

主イエス・キリストのご降誕を心から感謝し、喜びのクリスマス礼拝を久しぶりの方々も共に守る事が出来ました。昼食は、暖かい鍋をみんなで囲み楽しい愛餐会の時を持てました。

夜は、「生命の輝き」をテーマに高橋権也さん(高橋内科医院医院長)をゲストにお招きしイヴ礼拝を守りました。高橋さんは医師としてアジアへのボランティア活動が続けておられ、その体験談など貴重なお話を聴くことができました。恵まれた良きクリスマスを迎えることが出来感謝でした。



教会役員からの一言

小学校でいじめられっ子だった私がはじめて自己肯定感を持ったのは14歳、中3の時のこと。以後、いろいろなピンチがあっても、それをもち続けてここまでこれたことに、神様に感謝です。

今、息子が14歳。私よりはるかに力強い歩みをしていることにも、神様に感謝です。

(橋本 博)

西小倉めぐみ教会をおぼえ、祈りの中に加えてくださり、感謝いたします。

この夏は、久しぶり、教会の皆様と一日キャンプに出かけ、水遊び、バーベキュー等々、楽しい時間が与えられ感謝です。この歩みが、これからも続けていけますようにとつくづく思いました。

(田中千栄)

この半年は、体、心のバランスをくずした人が多く、礼拝人数も少ない日が多かったです。でもこの教会に連なって、私達の友として信仰生活を送っています。私達の教会自身も明日の一歩のために試行錯誤をくり返しています。

そんな私達の教会を覚えてお支え下さっていることに、本当に感謝しています。そして明日への希望ともしています。ありがとうございます。

(門戸幸子)

私は心に病を負っている信者です。数ヶ月前から体調を崩し、思いもかけぬ新たな病を患っています。医者のお話ではかなり時間がかかると言われています。そんな療養生活はあせりと不安の連続です。そんなとき、週に一度の教会での交わりはかけがいのない物です。それはとても小さな集まりですが心が和み、苦しい日常をリフレッシュできます。私たちの教会は心の病んだ人たちの多い教会です。有りのままで受け入れてもらえる貴重な居場所です。これからも信仰でつながった友を思いやりながら生きて、教会の小さな明かりを灯し続ける事こそが重要だと思うのです。なぜなら、同じような思いの人は、世の中には少なくないと思うからです。

(団野利男)

仕事で中国の上海に行ってきました。最高時速430kmのリアモーターカーが走り、京都ではお目にかかれないような超高層ビルがいくつも建ち並び町並みには驚かされました。昔ながらの古いアパートがどんどん壊されて開発が進んでいるのですが、聞くとところによると中国では土地は国のものであるため、住民は立ち退きを迫られるとそれに対抗する術がないそうです。

また、観光地などではしょうがいを持った人たちが物乞いをしている姿も見られました。急速な発展の陰で、弱い立場の人たちがどれだけ大切にされているのか。中国の人達も、また私達も考えるべきことがたくさんあるように思いました。(安達太郎)

「西小倉めぐみ教会を支える会」へのご支援のお願い

主の御名を讃美いたします。

西小倉めぐみ教会は、1981年4月、多芸正之牧師による開拓伝道により歩みを始め、以来、社会の中で小さくされた人たち、貧しくされた人たち、しょうがいをもつ人たち、とりわけ精神しょうがい者の人たちの課題を共に負って生きること、平和を希求して歩むことを宣教の課題として歩んできました。

2005年4月より倉橋剛牧師を後任牧師に迎えた後も、その基本姿勢に変わりはありません。

西小倉めぐみ教会では、教会に集う人たちが自身が精神しょうがい者であったり、その家族に精神しょうがい者がいる人たちが多くを占めています。弱い立場にある人たちが多く集う教会ゆえに、教会員による精一杯の献金にもおのずと限界があるところです。

また、倉橋牧師招聘後の謝儀は、京都教区宣教連帯の制度から援助を頂いておりますが、教区の財政状況も厳しく、毎年大幅な減額が続いています。さらに教会の施設として牧師館を持っていないため、家賃等牧師館にかかわる費用が年間約150万円必要です。

同教会のこれからの社会的はたらきをご支援いただくことと併せ、このような経済的事情にどうかご理解をいただき、牧師館に関わる月々の費用を賄うための献金について、どうかご支援いただきたくお願い申し上げます。

2007年12月

西小倉めぐみ教会を支える会
代表 山下茂雄(醍醐教会牧師)

今までに御献金いただいた方のお名前(敬称略・順不同)

2007年7月30日～2007年12月9日 現在

宇治教会、山下茂雄、新井寛子、君村千代子、廣野智子、鴨東教会、田園調布教会、新潟教会、光明園家族教会、洛南教会、俣田浩一、森田嘉之、広瀬規代志、福井達雨、大住世光教会、鳥取新生教会、箕面教会、金沢八景教会、池田五月山教会、三田教会、望月修治、目白町教会、横田明典、美藤 章、川上 信、難波 巧、春田繁則・三菜子、岩城澄子、田中 晃・千栄、小曾根一枝、杉本節子、団野利男・明日香、橋本 博、門戸幸子、安達太郎、倉橋 剛・容子
(計 372,657円)

●これらの献金は、牧師館の家賃支払いに用いさせていただきました。ご支援ありがとうございました。

●教会のホームページをご覧ください！！

西小倉めぐみ教会のホームページが出来ています。まだまだ内容はこれからですが、これから充実させていく予定です。教会通信の1号から4号までも掲載しています。是非一度ご覧ください。アドレスはwww.n-megumi.comです。

また、不登校やひきこもりがちな子ども達、若者達のフリースペース『おやすみ』のホームページもあります。アドレスはoyasumi.infoです。こちらの方も併せてよろしくお願いします。